

64:3  
ダイヤ改

# 地鉄も合理化の矛先

## 「幕張支部が支部長になった気持ちで闘おう」 幕張支部(12/21)定期大会で決意固める

幕張支部は十二月二日、第十一回定期大会を成功裡にかちとった。

作業終了後、組合員六二名が弁天町会館をうぐめ、和気あいあいの中にも八九年決戦にむけて決意を固め、闘う方針を決定した。

大会は、宇佐美執行委員の力強い開会宣言のあと、黒田執行委員から全執行委員、委員の出席と傍聴者多数が参加していることが発表され、そのあと、宇田川委員を議長に選出し、テキパキと進められた。支部を代表して、滝口支部長は、「役員・活動家が強制配転で切りとられながらも、組合員の一致団結でガッチリと組織、職場を守ってきた。当局・革マルの組合つぶしに勝利してきた教訓を全体のものとし、八九年の一大反撃に転じよう。当面、三月ダイヤ改合理化阻止にむけて、今からたたかいを展開しよう」と訴えた。

続いて、小川義人千葉市議から寄せられたメッセージが紹介され、ただちに議題に入る。

最初に、大隈副支部長から一年間の闘いの経過と総括が提起され、石幡書記長から財政、白井副支部長から方針が提起された。

続いて、中野委員長よりあいさつを受ける。委員長は、怒りをこめて東中野駅事故を弾劾し、「乗務員は安全闘争に立ちあがっている。運転保安・作業安全のため、来年三月ダイヤ改合理化阻止にむけて闘う。焦点は千転と幕張、ただちにたたかいを展開しよう」と檄を發した。

そのあと一括討論に入った。「指針の唱和について全体で拒否できる方向で取り組もう」「現場長は組合と話し合う姿勢がない。どのように交渉を展開するか」「ATSの取り扱いの指導が各区バラバラと聞く。相当問題だ！」等々、出された。中野委員長の総括答弁を受け、全体として「まず自らが決意し行動する。一つ一つの闘いを積み重ねよう、みんなが支部長になった気持ちで頑張れば大いに勝利できる」ことをしっかりと確認した。又、支部役員について規約にもとずき六月役員を実施する。その間は白井副支部長が支部長を代行することを全員一致で決定した。最後に、白井支部長代行の音頭で団結ガンバローを三唱し、成功裡のうちに終了した。

日刊  
動労千葉

1988/2.26  
N2947

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五(六)公衆(四七)二二(七)七二〇七

幕張支部は、大会をうけ一月に乗務員分科総会、検査・検修分科新年会をもって八九年のたたかいの全面的展開へと入る。



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

1月14日(土)13時

89  
団結旗開き

- ・労働者福祉センター(4F)
- ・各支部は、支部旗を持参して下さい。